海外安全対策情報

【定期報告：4月～6月】

在ケープタウン出張駐在官事務所

1. 西ケープ州における犯罪傾向

- (1) 南ア総選挙が5月に行われた関係で、政府に対するデモ活動が前年同期に比べやや活発的になった。
- (2) 在ケープタウン出張駐在官事務所管轄地域の2014年4月～6月における邦人に対する被害の報告件数は3件であった。

2. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人

ア 邦人被害者情報なし。

その他被害事件

- イ 5月30日、18時半頃、ケープタウン国際空港出発ロビーにあるレストランにおいて空港巡回中の警察官が同レストランで働いている恋人を銃殺しようと試みた。発砲された弾は恋人とその同僚2名にも当たり、それぞれが重体である。犯人はその場で自殺した。
- ウ 6月25日、午前10時頃、ケープタウン市カークベイにある登山道（Trappieskop hiking trail）で72歳の男性が近づいてきた見知らぬ男にナイフで胸を刺され殺害された。容疑者は被害者の所持品を盗み逃走した。

(2) 強盗

邦人被害

ア 邦人被害者情報なし。

その他の被害事件

イ 邦人被害者情報なし

(3) 強姦

ア 邦人被害者情報なし。

(4) その他

- ア 4月16日、深夜ケープタウン市ロングストリートのナイトクラブで1人の男が拳銃を店員に突きつけ、現金と貴金属を奪って逃走した。
- イ 4月17日、深夜0時半頃、ケープタウン市ハウトベイの在留邦人宅へ3人組の強盗が侵入した。ケータイ、パソコン等貴重品類を盗まれたが、被害者へ直接的危害は加えられなかった。
- ウ 5月10日深夜から未明にかけて、ケープタウン市シーポイントの住宅に空き巣が侵入し、パソコンや貴金属、クレジットカードが盗まれた。
- エ 5月20日、午前中にケープタウン市庁舎であるシビックセンター（当事務所向かい建物）前の道路を封鎖してデモを行った。デモを起こしたのは、市に雇われている黒人層たちによるもので、賃上げや労働環境改善を訴えた。同デモには約2千人が参加した。
- オ 5月21日、午前11時頃、ケープタウン市グリーンポイントの宝石店に拳銃を持った5人組の強盗が侵入した。全員が警察の制服を着用していたため、訝しんだ店主が証明書を見せるよう求めたところで、犯人らが店主らを拘束、倉庫へ閉じ込めた。犯人らは宝石類を全て盗んだ後、逃走した。
- カ 5月22日、深夜1時頃、ケープタウン市市内中心部のロングストリートにおいて、在留邦人が見知らぬ男に話しかけられ、注意を逸らされている間に財布をすられた。
- キ 5月26日、朝7時頃にケープタウン市テーブルビューのスーパーに3人組の強盗が押し入った。3人の店員が刺され、病院に搬送された。強盗集団は金目の物と店員の携帯電話を奪って逃走した。
- ク 6月8日深夜から9日未明にかけて、在留邦人が住む住居に空き巣が入った。旅券や携帯電話、銀行カード等の入ったバッグを盗んで犯人は逃走した。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特になし。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 誘拐

ア 5月15日、ケープタウン市ステレンボッシュ大学構内において女子学生が誘拐された。被害者は2人組の男に車に押し込まれ、見知らぬ土地まで連れて行かれ、車内では服を燃やされるなどした。女子学生は隙を見つけ逃げ出し、セキュリティー会社によって保護された。

5. 対日感情

概ね良好。なお、6月25日に千葉県和田町で行われた鯨の解体とそれを見学する地元の小学生の様子が一部メディアで報じられ、日本に対し批判的な記事が書かれた。

6. 日系企業の安全に関する諸問題

特になし。

7. 日本人安全対策のためにとった具体的措置

(1) 在留邦人へのお知らせ等の発出

不定期ながらも、安全対策に役立つ情報を当事務所より「駐在官事務所からのお知らせ」としてメールを発出し、在留邦人に対して安全対策情報を発信している。

(2) その他の措置

常日頃より、当地在住の邦人等との意見交換を行い、当地での生活の安全情報の収集に努めている。